

断層変位評価に関するシンポジウム プログラム

日時: 平成27年7月3日(金) 9:30~17:40
 場所: 土木学会講堂
 主催: 土木学会 原子力土木委員会
 後援: (公社)地盤工学会, (公社)日本地震工学会, (一社)日本応用地質学会, 日本活断層学会, (一社)日本原子力学会

時間	内容	担当
9:30-9:40	開会あいさつ, 委員会の趣旨, シンポジウムの趣旨説明	
9:40-11:30	委員会報告	
	活動の概要 調査WG報告 解析WG報告 活用WG報告	
11:30-12:30	昼食休憩	
12:30-14:10	セッションI 断層変位評価に関する調査	座長: 遠田主査 副座長: 青柳幹事
	I-1 横ずれ地震断層のフラクタル的特性からみた断層変位の影響範囲 I-2 地震断層分布の複雑性: 最近の地震を例にして I-3 地表地震断層の地上レーザー計測とその有効性 I-4 原子力発電所の断層変位ハザード I-5 InSAR解析によって検出した小規模な地震断層の最大変位量と長さの関係	栗田泰夫 遠田晋次 吉見雅行, 丸山正, 竿本英貴 鈴木義和, 井上大栄, 安中正, 田中竹延 青柳恭平, 大沼巧, 奥智也, 佐々木俊法
14:20-16:00	セッションII 断層変位評価に関する解析・実験	座長: 谷主査 副座長: 澤田幹事
	II-1 横ずれ断層活動時におけるフラワー構造を伴うリーデルせん断帯発生の数値解析 II-2 慣性力を考慮した弾塑性有限変形解析による正断層・逆断層的破壊とそれに伴う波動生成シミュレーション II-3 並列有限要素法を用いた長野県神城断層地震を対象とする断層変位シミュレーション解析 II-4 被覆層厚と断層傾斜角が逆断層直上の地盤変状に及ぼす影響: 個別要素法による検討 II-5 地表断層近傍地盤の大変形を対象としたSPH法に基づく数値解析手法の開発	野田利弘, 山田正太郎, 豊田智大, 浅岡顕 山田正太郎, 野田利弘, 浅岡顕 三橋祐太, 橋本学, 奥田洋司, 内山不二男 竿本英貴, 吉見雅行 小野祐輔, 金光功樹, 谷口朋代, 中瀬仁
16:10-17:30	セッションIII 断層変位の構造物への影響	座長: 中村主査 副座長: 宮川幹事
	III-1 地表地震断層に対する工学的な姿勢・対策と今後の方向性に関する考察 III-2 断層変位に対する原子力発電所建屋の脆弱性評価に関する解析的検討 III-3 断層変位を受ける埋設鋼管の塑性ヒンジ位置の検討 III-4 三次元FEM解析による断層上の地中鉄筋コンクリート構造物の損傷評価	常田賢一 辻 弘一, 兼近稔, 美原義徳, 二階堂雄司 長谷川延広, 清野純史 樋口俊一, 渡辺伸和, 米澤健次, 穴吹拓也, 江尻讓嗣
17:30-17:40	閉会挨拶	